

白馬金山沢カチカチ山山行敗退記録

日時 2019年3月23日(土) 9:00~13:00

参加者 W,Y,I,A 4名

天候 曇り

例年ならば岐阜あたりでも十分滑走可能だろうが、小雪の今年は、藪山で期待薄。という事で、十分な雪を期待して手軽に高所まで行ける白馬まで遠征することにした。

新入会のA氏含め4名で神戸を出発し、翌朝5時くらいに梅池駐車場に到着。駐車場には固い積雪があり嫌な予感。

登山届のチェックをうけてゴンドラ、ロープウェイの1回券を購入(1920円)。

2本目のロープウェイで頂上駅に向い、簡単なレクチャを受ける。大勢のパーティでロープウェイ駅はごった返している。

シールを貼って自然園に向け出発(9:00)。雪は固く、期待していた新雪は全くない。前日かその前かのシュプールが固く残りその上を歩いてもシュプールは全く崩れない。すでに何パーティかは先行しており、我々も平坦な自然園を横切り、金山沢エントリー地点に向かう。登りに差し掛かるところでクトーをつけて(9:40)、固くなったトレース跡を頼りに高度を上げていく。先行者は、固い急斜面で登りに苦勞しているのがわかる。

2260mくらいになると風も強く、雪面もかなり固くなってきた。気が付けば我々の前にはパーティはおらず、敗退したのかとも考えた。

このまま進んで、固い斜面を猿倉まで滑るのも滑落の危険もあり、風が強くなってきたこともあって、残念ながらここで敗退することとした。

シールをはがし、自然園に向け滑走開始(11:00)するが、なにせ斜面が固く非常に緊張する。さらに雪面には多量降雨の影響か縦溝が走っていて、ライン取りも自由ではない。苦勞しながらもなんとか自然園まで滑り降り、ロープウェイ降場で大休止(11:55)。その後も谷筋の固い斜面をゴンドラ降場まで滑り、そのあとも固いゲレンデ斜面を滑ってこの日は終了(13:00)。なんとも早い山行終了だが、敗退するときはこんなものだ。

初めて宿泊する素泊りロッジ(3500円)に早々に到着して、翌日の行動を思案する。翌朝起きてみるとあたりは一面の積雪(10cm程度)。ノーマルタイヤに早々に変更したことを後悔しても後の祭り、苦勞しながらチェーンをつけて、宿を出発。

メンバーで議論したが、天気予報では午前中は降雪のままで午後にならないと天候回復は見込めず、山に入っても固い斜面のままの可能性が高いことから、ゲレンデスキーすることになった。有志2名が八方で午前中滑って(宿購入1日券3400円)、この日は終了。

春休みの行楽帰りか、渋滞で混雑した高速を使って神戸に帰ったのが21:00過ぎ。

積雪を求めて高山を目指すが、暖気後の寒気では雪面が固くなり、注意が必要。直近の激しい気温変動の中でザラメを狙うのも難しいが、いい雪を滑るには多少のばくちを繰

り返すしかないのかもしれない。ただ、やはり白馬は遠かった。



梅池ゴンドラ乗場



ロープウェー終点



自然園を進む



敗退後の戻り

以上